

## 日頃の成果が各学年行事へ

私が榛中に着任してから一度も計画通り実施できていないため、実質3年ぶりとなるわけですが、各学年とも大きな成果を残して、実施できほっとしています。

1年生は、大きな事故やけがも無く計画された内容をすべてこなし、宿泊等に関してもまったく問題なく実施できたと聞いています。**出発式での生徒たちの様子を見れば、きっとそうなることは想像できました**が……。

2年生は、職業体験でこちらも大きな成果を残したようです。修学旅行から帰ってきた翌日、川崎小学校の杉山校長先生から、「**学校に来てくれた榛中生が本当によく頑張ってくれて、最後は子どもたち(小学生)が別れを惜しんで泣いていた。とっても良かったです。**」と称賛の声を届けてくれました。坂部小の北島校長も最終日に教頭先生のところに同様のお礼をいただいたようです。生徒も頑張りましたが、先生方も3年生の出発や迎え、それに台風被害の処理等を組織でバックアップしてくれて嬉しかったです。ありがとうございました。

3年生とは、3日間をともに過ごし、改めて3年間で成長した姿を数多く見ることができ、これだからこそ、今の榛原中が落ち着いた中で安定した学校生活を送れるんだと感じました。その3年生の頑張りの一部を少しだけ皆さんにお裾分けします。奈良公園で大雨に見舞われ、ほぼ全員がびしょ濡れになったにも関わらず、3日間**体調不良で不参加になった生徒がいなかった**ことが一つめの奇跡。圧巻だったのは、2日目の実行委員・班長・部屋長会です。先生方も担当を含め数名いたのですが、一言も言わない中で、**担当の実行委員を中心に自分たち**で2日間の成果と課題を出し合い、その中で3日目に何を生かすかまで自分たちで見事に進めていました。学級ごと話し合う場面では意見をきちんといい、発表の場面では、全員が顔を上げて発表者の意見に注目する。そして、最後に押さえとまとめを先生方が端的にポイントを絞って話す。……まさに**理想的な会を2日目の夜にやることができる3年生**。添乗員のまとめ役の松浦さん

も、その様子を見て、「**こんなことができる学校見たことがありません**」とおっしゃっていました。

各学年の状況について、ごくごく簡単に紹介しましたが、それぞれの学年がなぜ大きな成果を残すことができたのか？それは、ごくごく簡単で、**学校生活の中で「日々の当たり前」のレベルが非常に高く、安定しているからこそその成果**だと確信します。特に3年生は、1年生の時から、実際には行事が行われなくても、学校生活をリーダーを中心にしながら自分たちの手で充実させていく指導を積み重ねてきたことが、今回のあらわれに繋がっていることは明白です。先生方の指導の成果が、行事でも十分発揮されました。**今後の学校生活のさらなる充実目指して、引き続きよろしく申し上げます。**



まずは、10月4日の**人事管理訪問**で先生方の生き生きと輝いている姿をご披露ください。また、5日の教科等研修会では、**授業参観を通して学びを深める**機会としてください。枝村先生、**榛中の良さを発信できる良い機会**です。よろしく申し上げます。